



# 大倉ふじお

通信 意見等ありましたら  
お気軽にご連絡下さい

2019年3月 第169号  
発行・会派「公明党」大倉富重雄  
成田市不動ヶ岡1984 22-3062

## 私の議会質問から

詳しくはこちらからご覧になれます▶

成田市議会中継

検索

平成31年3月議会は、2月8日に開会し、3月7日に閉会しました。私は、2月19日午後1時20分から60分間、防災・減災等4項目について質問しました。要旨は以下の通りです。

### ① 防災・減災 — 国土強靱化計画、マイ・タイムライン、液体ミルク・ダンボールベッドの活用！



質問内容

①昨年は、日本列島は相次ぐ自然災害に見舞われ、電力や交通など重要インフラが甚大な被害に遭った。災害は頻発、激甚化する中、防災・減災対策を加速させる必要が求められている。重要インフラ緊急対策は、160項目の総事業費は約7兆円で2018年度から20年度の3年間で集中的に実施するもの。そこで、国土強靱化基本計画の見直しと重要インフラ緊急対策について、本市の取り組みを伺う。  
②マイ・タイムラインの必要性を感じるが、市の考え方は。③液体ミルクの備蓄とダンボールベッドの活用の見解を伺う。

答弁

①国における「国土強靱化基本計画」の見直しを受け千葉県「国土強靱化地域計画」の変更も想定されるので、その動向を注視し「ハード対策」「ソフト対策」及び「自助」「共助」「公助」の推進の取り組みを、災害リスクや地域の状況等に応じて適切に組み合わせ、**幅広い分野での強靱化に取り組んでいく**。②マイ・タイムラインの作成は、「自助」の取り組みの一環として、災害時の避難行動において大変有効であるので、先進自治体等の事例を参考にしながら、**普及に努めていく**。③液体ミルクは他の自治体の導入事例等を参考に、**調査・研究する**。ダンボールベッドの使用は大変有効であり、今後、**取り扱い事業者との協定締結に向けて、検討する**。

再質問・  
要望した事項

☐ 特定建築物の耐震化率と住宅の耐震化率の状況は  
☐ 橋梁の耐震補強率は

☐ 下水道BCPの策定状況と施設の地震対策実施率は  
☐ 冠水道路の解消と道路の空洞調査の状況は

### ② 外国人材の拡大 — 改正出入国管理法の本市への影響、多文化共生の施策の実施！



質問内容

政府は、新たに在留資格を設けて日本で働く外国人を拡大する制度の基本指針や受け入れ見込み数を掲げた分野別運用指針、相談窓口の整備など外国人や自治体への支援策126項目を盛り込んだ総合的対応策を決定した。そこで、伺う。①本市における外国人労働者と外国人技能実習生の就業実態と課題は。②改正出入国管理法による本市への影響をどう考えているのか。③公明党の提言を受けて、国は「外国人の受入れ・共生のための総合的対応策」を取りまとめた。そこで、多文化共生に取り組む施策について、どのような取り組みをするのか。

答弁

①ハローワーク成田管内では、**外国人労働者は6163人**、県内で11.3%、受入事業所数は975で県内11%。業種は、サービス業が最も多く1358人成田管内で22%。**技能実習生は、1279人**で県内10.7%。課題は労働時間などである。②法改正は人材不足解消の一助になる。今後の国の動向を注視し、商工会議所や農業協同組合などの**経済団体などと連携して情報提供など適切に対応する**。③国の示した対応策を踏まえ、相談体制の整備、医療・保健・福祉サービスの提供環境の整備、災害発生時の情報発信・支援等の充実、外国人児童生徒の教育等の充実などに体系的に取り組むため、**外国人と共生していくための指針の策定など、検討する**。

再質問・  
要望した事項

☐ 私が提案した外国人相談の実績経過と見直しについて ☐ 多文化共生の推進に係る指針・計画の策定について

### ③ 地域包括ケアシステム — 地域共生社会の実現に向け横断的な推進体制の整備を！



質問内容

私は、平成23年から過去7回にわたり、地域包括ケアシステムについて質問をさせていただきました。いろいろな提案に対し担当課は、一生懸命に取り組んでおりますが、あと6年で、目指す2025年となります。そこで、①地域包括ケアシステム構築の進捗状況と課題はどうか。②生活支援コーディネーターについて、配置及び活動状況そして今後のあり方を伺う。

答弁

①高齢者人口の増加への対応として、**日常生活圏域の再編**を行い、「**認知症初期集中支援チーム**」「**在宅医療・介護連携支援センター**」を昨年4月に設置し、医療と介護の連携における課題の抽出と、その解決に向けた方策を検討する。幅広い課題に対応した、**横断的な推進体制を整備する必要**がある。②平成28年12月に、市全域を担当する**第1層生活支援コーディネーター**を1名配置し、昨年10月に、成田地区を担当する**第2層生活支援コーディネーター**を1名配置し、どのように地域の助け合いの活動などを促進し、必要な方につなげていくのが課題である。地域住民や関係団体と協働して、**地域の支え合いの体制づくりに取り組めるよう支援する**。

再質問・  
要望した事項

☐ 課題は、人材確保だが、その取り組みは

☐ 生活支援コーディネーターを段階的配置の計画は

### ④ 子ども読書活動の推進 — 子ども読書活動推進計画の見直し、ビブリオバトルを！



質問内容

平成30年4月に閣議決定された文部科学省の第4次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」では、中学生までの読書習慣の形成が不十分、また高校生の不読率が50%台の高い水準にあることなどが指摘されている。そこで、伺う。①発達段階に応じた読書習慣の形成について、どのように取り組んでいるのか。②読書への関心を高める取り組みは、また有効なビブリオバトルについての見解は。

答弁

①**乳幼児期**には、保健福祉館で行われる**4か月児赤ちゃん相談**において、絵本の読み聞かせと絵本の選び方のアドバイスをを行い、**赤ちゃん**と**絵本との出会いをサポート**しております。**小学生期**には、**学校訪問お話し会**を実施し、読書への動機づけを行っている。また、読書意欲を高めるために**ブックリストを作成**し、4月には新1年生に、夏休み前には全小中学生に**配布している**。図書館司書と学校図書館司書との合同研修を行い、学校と図書館の連携による発達段階に応じた取り組みを、今後も継続していく。②読書クイズラリーなどを開催し読書への関心を高めていく。**ビブリオバトル**は、中高生期への取り組みとして、**今後研究していく**。

再質問・  
要望した事項

☐ 児童用貸出冊数の推移、学校一斉読書活動の状況は  
☐ 図書館と学校図書館の連携で連携状況と課題は

☐ 学校図書館図書整備計画で学校図書館図書標準の達成は  
☐ 本市の子ども読書活動推進計画の見直しを